

令和4年度 当初予算関連資料

令和4年度当初予算のポイント・主要事業
(環境生活部関係)

令和4年3月
環境生活部

【予算編成にあたっての基本的な考え方】

令和4年度当初予算は、部の使命である次の4つの方向性を柱として、安全・安心が実感でき、全ての人びとが尊重され、心豊かに暮らせる三重を創るため、選択と集中により事業を編成しました。

＜環境生活部の使命＞

- ・ 県民の皆さんとの連携による交通事故の防止、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援の推進等に取り組み、くらしの安全・安心の実感を高めます。
- ・ 地球温暖化対策（緩和と適応）、大気・水環境の保全に取り組むとともに、廃棄物の3R＋Rと適正処理を推進することを通じて、環境への負荷が少ない持続可能な社会をめざします。
- ・ 県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等に関わらず、誰もが希望を持って挑戦、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。
- ・ 三重の持つ魅力や多様性を感じる、文化の薫り高い生活の中で、心の豊かさを育む取組を進めます。

このような考え方のもと、令和4年度当初予算においては、「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」「脱炭素社会の実現および『きれいで豊かな海』の再生」「人権が尊重され、誰もが参画できるダイバーシティ社会づくり」「『新たな日常』における文化の振興」「循環型社会の構築」について重点的に取り組めます。

(1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止、消費生活の安全の確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援の推進等に取り組み、くらしの安全・安心の実感を高めます。

また、性被害への対応については、コロナ禍をふまえた相談体制の充実や、孤独・孤立な立場にある子どもの性被害支援の強化に取り組みます。

(2) 脱炭素社会の実現および「きれいで豊かな海」の再生

脱炭素社会の実現に向けて、環境、経済、社会の統合的向上をめざしたさまざまな主体との連携による取組を進めるとともに、持続可能な社会を実現するための共通基盤となる取組についても推進していきます。

また、良好な生活環境の保全や「きれいで豊かな海」の再生に向けて、さまざまな主体と連携しながら取組を進めます。

(3) 人権が尊重され、誰もが参画できるダイバーシティ社会づくり

県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等に関わらず、誰もが希望を持って挑戦、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。

人権が尊重される明るく住みよい社会の実現に向け、コロナ禍をふまえた人権啓発や、インターネット上の差別、誹謗中傷等の発生防止対策の充実を図るなど総合的な対策を推進します。

また、誰もが参画できる社会づくりに向け、「第3次三重県男女共同参画基本計画（令和2年度策定）」「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（令和2年度制定）」に基づく取組等を推進します。

(4) 「新たな日常」における文化の振興

三重にゆかりの深い画家を紹介する企画展や三重の持つ多様で豊かな自然と歴史・文化を体験する展覧会等を開催することにより、県民の皆さんが文化芸術にふれる場を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化団体等に対して活動再開に向けた支援を行います。

また、コロナ禍等大きな社会情勢の変化や国の動きなどをふまえて、今後の文化振興施策の推進に向けた取組を進めます。

(5) 循環型社会の構築

持続可能な循環型社会の構築をめざし、市町、事業者、NPO等のさまざまな主体とのパートナーシップを強化し、新たな知見や技術を積極的に活用することにより、廃棄物の「3R+R」の促進や廃棄物処理の安全・安心の確保に取り組めます。

また、循環関連産業の振興に注力することで、社会的課題であるプラスチックごみ対策や食品ロス対策を推進します。

【主な重点項目】

(1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

① 交通安全企画調整事業 予算額 1,465千円

令和3年7月に策定した「第11次三重県交通安全計画」に基づき、市町や関係機関と連絡調整を図りながら効果的な交通安全対策を推進するとともに、令和3年3月に制定した「三重県交通安全条例」について、Web広告を活用して効果的・効率的に周知し、県民の皆さんの交通安全意識や交通マナーの向上、自転車損害賠償責任保険等の加入促進を図ります。

② 飲酒運転^{ゼロ}をめざす推進運動事業 予算額 3,314千円

令和3年8月に策定した「第3次三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす基本計画」に基づき、関係機関と連携し、飲酒運転の根絶に関する教育および知識の普及・啓発を行います。

特に、飲酒運転違反者に対して、アルコール依存症に関する診断を受けるよう通知、勧告、再勧告を行うことにより再発防止対策を推進するとともに、飲酒運転とアルコール問題に関する相談窓口を運営し、飲酒運転の根絶を図ります。

③ 消費者啓発事業 予算額 20,556千円

消費者トラブルの未然防止、拡大防止に向けて、若年者や高齢者を中心に幅広い世代を対象とした消費生活出前講座等を開催するとともに、市町、消費者団体、事業者団体、関係機関、消費者啓発地域リーダー等のさまざまな主体と連携した啓発活動や多様な情報媒体の活用等により消費者啓発・消費者教育に取り組みます。

また、人や社会、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費に対する理解が深まるよう、関係機関と連携してセミナー等の普及啓発を行います。

- ④ 相談対応強化事業 予算額 24,392千円
県消費生活センターに消費生活相談員を配置するとともにその資質向上を図り、消費者からの相談に対して迅速かつ適切に対応します。
また、多重債務に関する相談に対して関係機関と連携して、適切に対応します。
- ⑤ 安全安心まちづくり事業 予算額 623千円
「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」に基づき、市町との連携強化を図るとともに、県民の皆さんや事業者等さまざまな主体と協働しながら、犯罪のない安全で安心な三重のまちづくりの実現に向けた取組を進めます。
- ⑥ 性犯罪・性暴力被害者支援事業 予算額 22,597千円
「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、相談件数の急増等に対応するため相談体制の強化を図るほか、引き続き、電話相談やSNS相談、付き添い支援等に取り組むとともに、関係機関等と連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。
また、認知度向上のための広報啓発を行います。
- ⑦ (新) 孤独・孤立な立場にある子どもの性被害支援強化事業
＜事業実施期間：令和4年度＞ 予算額 5,303千円
「学校における性被害」に関する課題把握・論点整理等を行い、抽出した課題・論点を基に関係機関が参加する検討委員会により支援マニュアルを作成し、公立・私立学校等の関係機関に配付し運用することで、学校と関係機関の双方が連携しながら被害者に対するアウトリーチ型の支援が行える体制を整備します。

(2) 脱炭素社会の実現および「きれいで豊かな海」の再生

① (一部新) 脱炭素社会推進事業 予算額 29,503千円

脱炭素宣言「ミッションゼロ2050みえ」の具現化に向けた取組をオール三重で進めるため、「ミッションゼロ2050みえ推進チーム」の枠組みを活用して、再生可能エネルギーの利用促進、脱炭素経営の促進、COOL CHOICEの推進等に取り組めます。

特に、温室効果ガス排出量の多い産業部門対策として、優良な脱炭素への取組等を実地に調査し、水平展開を図ることで、事業者等の自主的な脱炭素への取組を促進します。また、県も脱炭素への取組を進めるため、県有施設への再エネ電力調達の手法を検討します。

② 地球温暖化対策普及事業 予算額 11,661千円

温室効果ガスの排出削減に向けた取組の普及を図るとともに、「三重県気候変動適応センター」と連携し、「気候変動適応法」に基づく気候変動影響への適応の取組を促進します。

また、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速していることから、「三重県地球温暖化対策総合計画」の削減目標の再検討や必要な対策を追加・拡充するなど、見直しを行うとともに、同計画の進捗状況については、「三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会」で評価等を行います。

③ 河川等公共用水域水質監視事業 予算額 38,191千円

公共用水域および地下水の水質常時監視を行うほか、伊勢湾に流入する汚濁負荷量(COD、窒素、りん)の管理を図る水質総量規制を実施するとともに、伊勢湾の水質汚濁の実態を把握するための調査等を実施し、河川、海域等の水質保全を図ります。

④ 伊勢湾行動計画推進事業 予算額 85,136千円

海岸漂着物対策として、市町等が取り組む回収・処理および発生抑制対策事業に助成します。

また、「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」等の発生抑制対策を広域的に展開するとともに、「きれいで豊かな海」の観点を取り入れた調査研究を実施します。

(3) 人権が尊重され、誰もが参画できるダイバーシティ社会づくり

① 人権啓発事業 予算額 22,190千円

県民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会等の開催やスポーツ組織との連携による啓発等を行うとともに、地域の実情に応じた啓発活動を展開することができるよう、市町の取組に対する支援を行います。

また、インターネット上の差別について、SNS広告を活用した効果的な人権啓発を実施し、ネット差別の発生防止を図ります。

② 同和問題等啓発事業 予算額 15,255千円

同和問題や新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害等あらゆる人権課題に対する県民の皆さんの理解と認識を深め差別のない社会を実現するため、マスメディアの活用やポスターなど、さまざまな手法による啓発を実施します。

③ インターネット人権モニター事業 予算額 2,919千円

インターネット上の差別的な書き込みを早期に発見し、削除要請を行うとともに、差別事象の分析を行います。また、モニタリング活動等に協力いただく「インターネット人権ソーシャルウォッチャー」を養成する講座を開催します。

④ （一部新）みえの輝く女子プロジェクト事業

予算額 3, 446千円

女性が活躍できる環境整備に向けて、企業、国（労働局）、大学、地域経済団体等さまざまな主体と連携した「女性の大活躍推進三重県会議」を運営するとともに、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援やグループワークを通じた取組改善の支援を行います。

⑤ （一部新）男女共同参画センター事業 予算額 8, 588千円

（21, 055千円 ※R3年度2月補正予算含みベース）

コロナ禍で不安や困難を抱える女性の相談支援につなげるため、県男女共同参画センター「フレンテみえ」において、心理カウンセリングなど相談体制の充実、サポート講座の実施、生理用品の配布、SNS広告による周知を図ります。

また、男女共同参画意識の普及啓発および調査研究事業等を実施します。

⑥ 性の多様性を認め合う社会推進事業 予算額 8, 864千円

「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」をふまえ、県民の皆さんを対象としたイベントや企業向け研修の開催など、性の多様性に関する理解促進に向けた取組を行います。

また、性の多様性に関する相談窓口の運営や相談人材育成講座、当事者等の交流会を行います。

⑦ (一部新) 外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業

予算額 27,493千円

外国人住民が、地域社会の一員として安心して生活することができるよう、災害等の緊急時や危機に備え、外国人住民を取り巻く関係者とのネットワークを強化するとともに、県内の日本語教育環境を整備するため、外国人親子(子育て世代)を対象とするオンラインによる日本語教室のモデル事業を実施します。

また、多言語ホームページにより行政・生活情報を提供するとともに、多文化共生への県民の皆さんの理解促進に取り組みます。

⑧ 外国人住民の安全で安心な生活への支援事業

予算額 39,378千円

「みえ外国人相談サポートセンター(MieCo)」において、関係機関と連携し、外国人住民の生活全般に関わる相談の対応を行うとともに、必要な情報を提供します。

また、医療通訳者の育成など医療機関における多言語対応の促進や、消費者被害の防止に係る啓発に取り組みます。

(4) 「新たな日常」における文化の振興

① 美術館展示等事業

予算額 79,952千円

開館40周年を記念し、日本を代表する絵本作家である「いわさき ちひろ」とその師である松阪市出身の画家 中谷泰との交流を紹介する企画展をはじめ、本県にゆかりの深い画家を紹介する展覧会を開催します。

また、文化・教育関係機関をはじめとするさまざまな主体と連携した教育普及活動等に取り組みます。

- ② 総合博物館展示等事業 予算額 51,533千円
三重の多種多様で豊かな自然や歴史・文化を紹介する企画展等を開催するとともに、学校や地域と連携して、学芸員講座（出前授業）やアウトリーチキットの活用等のアウトリーチ活動を展開し、人材育成と本県の魅力発信に取り組めます。
- ③ 文化会館事業 予算額 70,758千円
芸術性の高いオペラ、バレエ等から高い人気を誇る歌舞伎等の伝統芸能まで、多彩で魅力的な文化芸術公演やアウトリーチ活動、人材育成に取り組めます。
- ④ 生涯学習センター事業 予算額 9,701千円
多様化・高度化する生涯学習ニーズに応えるため、県内の高等教育機関等との連携により、三重の歴史・文化など時宜を得たテーマによる学習機会を提供するとともに、地域において生涯学習分野で活動する方々を支援するための研修会を開催します。
- ⑤ 斎宮歴史博物館展示・普及事業 予算額 12,492千円
古典文学である「伊勢物語」と斎宮との関係を伝える特別展を開催するとともに、飛鳥・奈良時代の斎宮を明らかにする新たな映像展示の上映や斎宮・斎王について多言語で紹介する動画を作成し、プロモーション等を行います。
さらに、さいくう平安の杜等を活用した歴史講座等を実施し、史跡斎宮跡の魅力発信に取り組めます。
- ⑥ 文化活動再開支援事業 予算額 16,000千円
文化団体等が感染症対策を講じながら活動再開できるよう、県総合文化センターのホール等を利用する際の施設および付属設備の利用料や緊急事態宣言等で中止となった公演等の準備に要した経費等の支援を行います。

⑦ 文化活動連携事業 予算額 16,728千円

「人材育成」など「新しいみえの文化振興方針」で定める5つの方向性に係る取組について、専門的な視点から評価を行います。

また、三重県文化賞の実施や各地域の文化活動等の情報発信により、さまざまな主体の文化活動を促進します。

さらに、今後の文化振興施策を一層推進するため「三重県文化振興条例(仮称)」の制定に向けた取組を進めます。

(5) 循環型社会の構築

① 地域循環高度化促進事業 予算額 143,384千円

地域の廃棄物を資源としてとらえ、地域での一層の有効活用と高度化を促進するため、産業廃棄物の発生抑制、再生、減量化に加え、新たに環境負荷低減等の設備導入等に対して、その経費の一部を補助するとともに、事業者、研究機関、行政等のさまざまな主体と連携し、調査研究を実施します。

② (新) 循環関連産業振興事業 予算額 29,766千円

＜事業実施期間：令和4年度～令和6年度＞

循環関連産業の振興を図り、資源循環と経済の好循環を生み出すよう、脱炭素化等の取組を促すための経営者向けトップセミナーや、資源循環に関する担当者向け研修を実施します。

また、産業廃棄物に係る手続き案内等の一部自動化を行うとともに、資源循環を促進するためのガイドラインを策定します。

③ （一部新）プラスチック対策等推進事業

予算額 21,509千円

プラスチック資源循環の促進に向け、混合プラスチックを排出する事業者やマテリアルリサイクル技術を有する事業者と連携し、実証事業を行います。

また、海洋プラスチックごみ対策として、県民の皆さんや事業者が楽しみながらごみ拾いできるアプリの導入に取り組みます。

④ （一部新）食品ロス削減推進事業 予算額 13,457千円

食品ロス削減に向け、まだ食べられる食品の活用により生活困窮者等を支援するため、三重県食品提供システム「みえ〜る」の参加企業・団体の拡大に取り組むとともに、小売店舗等の食品ロス削減に向け、市町と連携し、フードシェアリングサービスの導入等を進めます。

⑤ PCB廃棄物適正管理推進事業 予算額 49,195千円

PCB廃棄物の適正な処理を推進するため、事業者に対し、PCB特別措置法等に基づき処分期間内に処理されるよう指導等を行います。また、必要に応じて行政代執行を行います。

⑥ （一部新）不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業

予算額 77,152千円

不法投棄の防止および早期発見のため、市町等と連携した取組を進めるとともに、監視カメラやドローン等を積極的に活用した的確かつ効率的な監視・指導を行うほか、新たに自動運用型ドローンによる監視手法を検討します。

また、建設系廃棄物対策のため、研修会を開催等します。

⑦ 環境修復事業

予算額 3, 140, 898千円

生活環境保全上の支障等がある3つの産業廃棄物不適正処理事案（四日市市大矢知・平津、桑名市源十郎新田、桑名市五反田）の行政代執行について、産廃特措法に基づく国の支援を得て、実施計画に基づき、令和4年度末までに着実に対策工事を完了させます。

また、四日市市内山事案については、その効果が継続していることを確認するため、モニタリングを実施します。

誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

環境生活部 ぐらし・交通安全課

1、3、4 ぐらし安全班、交通安全班：224-2664
2 消費生活センター班：224-2400

県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止、消費生活の安全の確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援の推進等に取り組み、ぐらしの安全・安心の実感を高めます。

また、性被害への対応については、コロナ禍をふまえた相談体制の充実や、孤独・孤立な立場にある子どもへの性被害支援の強化に取り組みます。

1 交通事故のない社会の実現

交通安全企画調整事業 【1,465千円】



令和3年7月に策定した「第11次三重県交通安全計画」に基づき、市町や関係機関と連携調整を図りながら効果的な交通安全対策を推進するとともに、令和3年3月に制定した「三重県交通安全条例」について、Web広告を活用して効果的・効率的に周知し、県民の皆さんの交通安全意識や交通マナーの向上、自転車損害賠償責任保険等の加入促進を図ります。

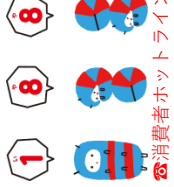
飲酒運転0(ゼロ)をめざす推進運動事業 【3,314千円】

令和3年8月に策定した「第3次三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす基本計画」に基づき、関係機関と連携し、飲酒運転の根絶に関する教育および知識の普及・啓発を行います。特に、飲酒運転違反者に対して、アルコール依存症に関する診断を受けるよう通知、勧告、再勧告を行うことにより再発防止対策を推進するとともに、飲酒運転とアルコール問題に関する相談窓口を運営し、飲酒運転の根絶を図ります。

2 消費生活の安全の確保

消費者啓発事業 【20,556千円】

消費者トラブルの未然防止、拡大防止に向けて、若年者や高齢者を中心に幅広い世代を対象とした消費者啓発・消費者教育に取り組みます。また、エシカル消費に対する理解が深まるよう、関係機関と連携して普及啓発を行います。



相談対応強化事業 【24,392千円】

県消費生活センターの相談員の資質向上を図り、県民の皆さんからの相談に迅速かつ適切に対応します。

3 安全・安心なまちづくり

安全安心まちづくり事業 【623千円】

「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」に基づき、市町との連携強化を図るとともに、県民の皆さんや事業者等さまざまな主体と協働しながら、犯罪のない安全で安心な三重のまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

4 性被害を防ぎ、被害者に寄り添った取組の充実

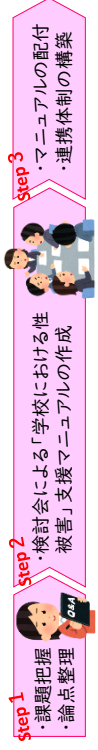
性犯罪・性暴力被害者支援事業 【22,597千円】

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」において、相談件数の急増等に対応するため相談体制の強化を図るほか、引き続き、電話相談やSNS相談、付き添い支援等に取り組むとともに、関係機関等と連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。また、認知度向上のための広報啓発を行います。



(新) 孤独・孤立な立場にある子どもの性被害支援強化事業 【5,303千円】

「学校における性被害」に関する課題把握・論点整理等を行い、抽出した課題・論点を基に関係機関が参加する検討委員会により支援マニュアルを作成し、公立・私立学校等の関係機関へ配付し運用することで、学校と関係機関の双方が連携しながら被害者に対するアウトルーチ型の支援が行える体制を整備します。



脱炭素社会の実現および「きれいで豊かな海」の再生

環境生活部

- 1 地球温暖化対策課：224-2368
- 2 大気・水環境課：224-2382

脱炭素社会の実現に向けて、環境、経済、社会の統合的向上をめざしたさまざまな主体との連携による取組を進めるとともに、持続可能な社会を実現するための共通基盤となる取組についても推進していきます。

また、良好な生活環境の保全や「きれいで豊かな海」の再生に向けて、さまざまな主体と連携しながら取組を進めます。

1 脱炭素社会の実現

(一部新) 脱炭素社会推進事業【29,503千円】

脱炭素宣言「ミッションゼロ2050みえ」の具現化に向けた取組をオール三重で進めるため、「ミッションゼロ2050みえ推進チーム」の枠組みを活用して、取組を進めます。

- 再生可能エネルギーの利用促進
三重県産再生エネルギーによる、環境や地域への貢献に関する情報発信等を行い、利用促進を図ります。また、県も事業者として再生エネルギー導入を進めるため、モデル調達を行います。
- 脱炭素経営の促進
脱炭素経営に取り組みようとする中小企業等を支援するため、アドバイザーを派遣し、温室効果ガス削減目標の設定支援等を行います。また、企業の効果的な脱炭素の取組を調査し、水平展開を図ることで、自主的な脱炭素への取組を促進します。
- COOL CHOICE (賢い選択) の推進
脱炭素につながる、さまざまな「賢い選択」への理解を深めるためのモデル事業やセミナーを開催し、オール三重での取組を推進します。

2 「きれいで豊かな海」の再生

【基本的な取組の方向性】

- 「規制」から「管理」への転換
- 「きれいさ」と「豊かさ」の施策を総合的に推進
従来の「水環境の保全」に加え、「生物多様性の保全、再生」に配慮した施策を、関係部局と連携のもと総合的に推進

【これまで:きれいな海】

「きれいさ」を目指した、水質規制

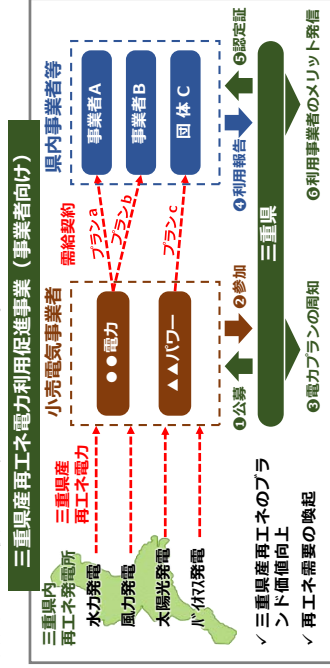
【これから:きれいで豊かな海】

良好な水環境と生物生産性、生物多様性が両立した「きれいで豊かな海」の再生を広域的かつ分野横断的な連携を通じて推進

地球温暖化対策普及事業【11,661千円】

温室効果ガスの排出削減に向けた取組の普及を図るとともに、「三重県気候変動適応センター」と連携し、気候変動適応法に基づく気候変動影響への適応の取組を促進します。

また、「三重県地球温暖化対策総合計画」の温室効果ガス削減目標の見直しを行うとともに、着実に推進するため、「三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会」で計画の進行状況の評価等を行います。

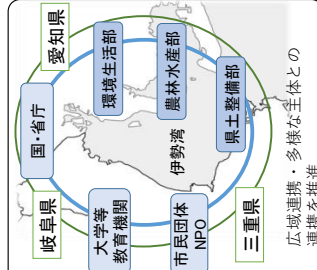


河川等公共用水域水質監視事業【38,191千円】

公共用水域および地下水の水質常時監視を行うほか、伊勢湾に流入する汚濁負荷量(COD、窒素、りん)の管理を図る水質総量規制を実施するとともに、伊勢湾の水質汚濁の実態を把握するための調査等を実施し、河川、海域等の水質保全を図ります。

伊勢湾行動計画推進事業【85,136千円】

海岸漂着物対策として、市町等が取り組む回収・処理および発生抑制対策事業に助成します。また、「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ大作戦」等の発生抑制対策を広域的に展開するとともに、「きれいで豊かな海」の観点を取り入れた調査研究を実施します。



人権が尊重され、誰もが参画できるダイバーシティ社会づくり

環境生活部

1 人権課

2 3 ダイバーシティ社会推進課 (男女共同参画班) : 224-2225

4 ダイバーシティ社会推進課 (多文化共生班) : 222-5974

: 224-2278

県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等に関わらず、誰もが希望を持って挑戦、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取組を進めます。

人権が尊重される明るく住みよい社会の実現に向け、コロナ禍をふまえた人権啓発や、インターネット上の差別、誹謗中傷等の発生防止対策の充実を図るなど総合的な対策を推進します。また、誰もが参画できる社会づくりに向け、「第3次三重県男女共同参画基本計画(令和2年度策定)」 「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例(令和2年度制定)」に基づき取組等を推進します。

1 コロナ禍をふまえた人権総合対策

人権啓発事業【22,190千円】

人権意識の高揚を図るため、講演会等の開催やスポーツ組織との連携による啓発等を行います。また、インターネット上の差別について、SNS広告を活用した効果的な人権啓発を実施し、ネット差別的な発生防止を図ります。

同和問題等啓発事業【15,255千円】

同和問題や新型コロナウイルス感染症に関する人権啓発等あらゆる人権課題に對する県民の皆さんの理解と認識を深め差別のない社会を実現するため、さまざまな手法による啓発を実施します。

インターネット人権モニター事業【2,919千円】

インターネット上の差別的な書き込みを早期に見出し、削除要請を行うとともに、差別事象の分析を行います。また、モニター活動等に協力いただく「インターネット人権ソーシャルウォッチャー」を養成する講座を開催します。

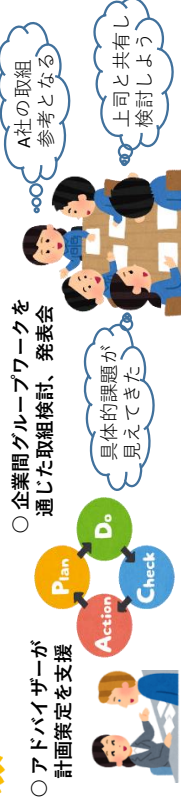
※金額はR3年度2月補正予算含むペース

2 男女が共に活躍できる社会づくり

(一部新) みえの輝く女子プロジェクト事業【3,446千円】

女性が活躍できる環境整備に向けて、「女性の活躍推進三重県会議」の運営とともに、一般事業主行動計画の策定支援やグループワークを通じて企業の取組改善を支援します。

課題 女性目線にも立った職場づくり、女性リーダー育成のために



(一部新) 男女共同参画センター事業【21,055千円】

(令和4年度当初予算 8,588千円
令和3年度2月補正予算 12,467千円)

コロナ禍で不安や困難を抱える女性の相談支援につなげるため、県男女共同参画センター「フレンドみえ」において、心理カウンセリングなど相談体制の充実、サポーター講座の実施、生理用品の配布、SNS広告による周知を図ります。また、男女共同参画意識の普及啓発および調査研究事業等を実施します。

3 性の多様性を認め合う社会づくり

性の多様性を認め合う社会推進事業【8,864千円】

「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」をふまえ、イベントや企業向け研修など、性の多様性に関する理解促進に向けた取組を行うとともに、相談窓口の運営や相談人材育成講座、当事者等の交流会を行います。

4 外国人住民の安全で安心な生活環境の整備

(一部新) 外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業【27,493千円】

災害等の緊急時や危機に備え、外国人住民を取り巻く関係者とのネットワーク強化と人材育成に取り組むとともに、県内の日本語教育環境を整備するため、オンラインによる日本語教室のモデル事業を実施します。また、多言語ホームページ(MieInfo)により外国人住民に必要な行政・生活情報を提供します。

外国人住民の安全で安心な生活への支援事業【39,378千円】

「みえ外国人相談サポートセンター(MieCo)」において、関係機関と連携し、外国人住民の生活全般に関する相談の対応を行うとともに、必要な情報を提供します。また、医療通訳者の育成など医療機関における多言語対応の促進や、消費者被害の防止に係る啓発に取り組めます。



「新たな日常」における文化の振興

環境生活部
文化振興課：224-2176

三重にゆかりの深い画家を紹介する企画展や三重の持つ多様で豊かな自然と歴史・文化を体験する展覧会等を開催することにより、県民の皆さんが文化芸術にふれる場を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化団体等に対して活動再開に向けた支援を行います。また、コロナ禍等大きな社会情勢の変化や国の動きなどをふまえつつ、今後の文化振興施策の推進に向けた取組を進めます。

1 県立文化施設の主な企画展等 (展覧会の名称は仮称)

美術館展示等事業【79,952千円】

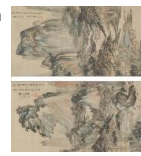
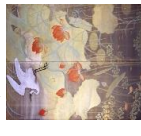
～開館40周年記念～

『宇田敏破展』

『いわさきさちひろ展-中谷泰を師として』

『県名「三重県」誕生150周年 岡田米山人・半江展』

ほか、『コレクション大公開 -西洋美術を中心に』などを開催します。



宇田敏破《巨嶽（おくら）の地》

いわさきさちひろ《緑の風のなかの少女》

岡田米山人《春秋山水図》

クロード・モネ《橋から見たアルジヤントウイユの泊地》

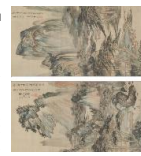
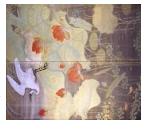
総合博物館展示等事業【51,533千円】

『名所発見、再発見！～浮世絵でめぐる三重の魅力～』

『大きくら展-三重の海にやってくるクジラたち-』

『三重の円空』

といった多彩な企画展を開催します。



歌川国貞作 二見浦曙の図

ミンククジラ 全身骨格標本

円空作 聖観音立像 志摩市三蔵寺蔵

文化会館事業【70,758千円】

『ハンガリー国立歌劇場オペラ「魔笛」』、『とびだせ！みえの絵本作家たち展2022』など、多彩で魅力的な文化芸術公演を開催します。



ハンガリー国立歌劇場 みえの絵本作家たち展

生涯学習センター事業【9,701千円】

城郭考古学者の千田嘉博さんの講演会など、学びにつながる事業を展開します。



千田嘉博さん（撮影：島中和久氏）

斎宮歴史博物館展示・普及事業【12,492千円】

『NARIHIRA-いにしへの雅び男のものがたり-』『斎宮・常設展示室III その②「斎王群行」』『鉄道模型で見る盛かしの鉄道輸送一貨物・荷物・郵便-』といった展示を開催します。



住吉具慶画三十六歌仙 画帖より在原業平

斎内親王参宮図

セキ3000（石炭車）

2 新型コロナウイルスに影響を受けた文化活動の再開支援

文化活動再開支援事業【16,000千円】

文化団体等が県総合文化センターのホール等を利用して活動再開できよう支援します。補助対象経費等：施設利用料、感染症対策用消耗品費や緊急事態宣言等で中止となった場合の公演等の準備に要した経費 補助上限額：40万円

3 今後の文化振興施策の推進

文化活動連携事業【16,728千円】

優れた文化活動を行う個人・団体を顕彰する「三重県文化賞」を開催するとともに、今後の文化振興施策を一層推進するため「三重県文化振興条例(仮称)」の制定に向けた取組を進めます。

循環型社会の構築

環境生活部廃棄物対策局

1、2、3

3 廃棄物 監視・指導課

3 廃棄物適正処理プロジェクトチーム

: 224-3310

: 224-2388

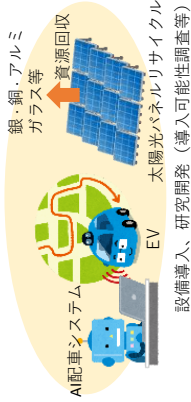
: 224-2483

持続可能な循環型社会の構築をめざし、市町、事業者、NPO等のさまざまな主体とのパートナーシップを強化し、新たな知見や技術を積極的に活用することにより、廃棄物の「3R+R」の促進や廃棄物処理の安全・安心の確保に取り組めます。また、循環関連産業の振興に注力することで、社会的課題であるプラスチックごみ対策や食品ロス対策を推進します。

1 「3R+R」の促進（循環関連産業の振興等）

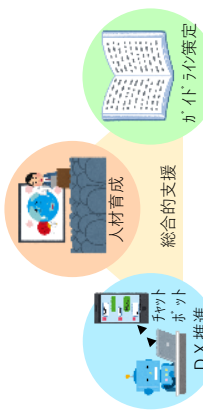
地域循環高度化促進事業【143,384千円】

- 産業廃棄物の発生抑制、再生、減量化に加え、新たに環境負荷低減等の設備導入等に対して、その経費の一部を補助します。
- 事業者、研究機関、行政等のさまざまな主体と連携し、調査研究を実施します。



(新) 循環関連産業振興事業【29,766千円】

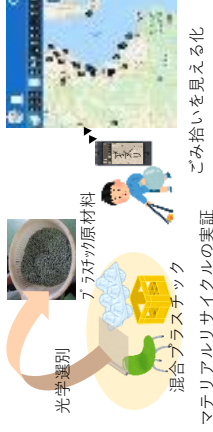
- 脱炭素化等の取組を促すための経営者向けセミナーや担当者向け基礎研修を実施します。
- 産業廃棄物に係る手続き案内等の一部自動化を行います。
- 資源循環を促進するためのガイドラインを策定します。



2 社会的課題の解決に向けた施策の推進

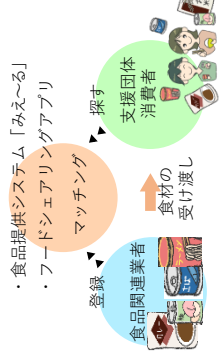
(一部新) プラスチック対策等推進事業【21,509千円】

- 事業者と連携し、混合プラスチックのマテリアルリサイクルの実証事業を行います。
- 県民の皆さんや事業者が楽しみながらごみ拾いのできるアプリの導入に取り組めます。



(一部新) 食品ロス削減推進事業【13,457千円】

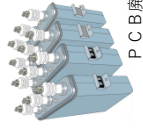
- まだ食べられる食品の活用により生活困窮者等を支援するため、食品提供システム「みえ〜る」の参加企業・団体を拡大します。
- 小売店舗等の食品ロス削減に向け、市町と連携し、フードシェアリングサービスの導入を進めます。



3 廃棄物処理の安全・安心の確保

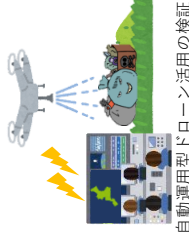
PCB廃棄物適正管理推進事業【49,195千円】

- 事業者に対し、PCB特別措置法等に基づき処分期間内に処理されるよう指導等を実施します。



(一部新) 不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業【77,152千円】

- 監視カメラやドローン等を活用した不法投棄対策に取り組めます。
- 新たに自動運用型ドローンによる監視手法を検討します。
- 建設業者向けの研修会を実施します。



自動運用型ドローン活用の検証

環境修復事業【3,140,898千円】

- 生活環境保全上の支障等がある産業廃棄物不適正処理事案の行政執行について、産廃特措法に基づき国の支援を得て、実施計画に基づき令和4年度末までに対策を完了させます。



【その他の主要事業】

事業の内容	
〈地域防災力の向上〉	
1 災害ボランティア支援等事業	8, 533千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)	
「みえ災害ボランティア支援センター」の運営に参画するとともに、研修会の開催等を通じ、関係機関と連携して災害ボランティアの受援体制の整備に取り組みます。	
〈犯罪に強いまちづくり〉	
1 犯罪被害者等支援事業	7, 254千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)	
「三重県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき、犯罪被害者等に寄り添った各種支援施策を推進するとともに、関係機関・団体が相互に連携する総合的な支援体制を整備します。また、犯罪被害者等が二次被害を受けないよう、県民の皆さんの理解促進を図ります。	
〈交通安全対策の推進〉	
1 交通安全運動推進事業	5, 138千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費)	
関係機関・団体と連携して、四季の交通安全運動等における年間を通じた交通安全啓発活動（ポスターの掲示、チラシ・啓発物品の配布、交通安全イベントの開催、ラジオ等による広報啓発等）を行い、交通事故防止の徹底に向けた取組を推進します。	
2 交通安全研修センター管理運営事業	39, 355千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費)	
県交通安全研修センターにおいて、幼児から高齢者まで幅広い県民の皆さんを対象にした参加・体験・実践型の交通安全教育を実施するとともに、地域や職域で活動する交通安全教育指導者の養成・資質向上を図ります。	
〈消費生活の安全確保〉	
1 消費者行政推進事業	20, 599千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費)	
弁護士等との連携により県消費生活センターの専門性を確保するとともに、県、市町の相談員等を対象とした研修会を開催し、県全体の相談対応能力の向上を図ります。また、消費者啓発地域リーダーを生かした啓発活動や見守り活動を促進するとともに、市町における消費者行政の推進を支援します。	

事業の内容

- 2 事業者指導事業 6, 168千円

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費)

事業者指導の実効性を高めるため、不当商取引指導専門員を配置するとともに、国、近隣県、警察、関係機関、関係部局等と連携して、悪質な取引や商品・サービスに係る不適正な表示について事業者の監視・指導を行います。また、適正な商取引や商品等の表示に向けた事業者の自主的な取組を支援します。

〈脱炭素社会の実現〉

- 1 環境学習情報センター運営事業 32, 068千円

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費)

県環境学習情報センターを拠点として、環境講座や環境保全に関するイベントの開催等を通じて、環境教育・環境学習を進めるとともに、指導者の育成や情報提供等を行います。

- 2 環境影響・公害審査事業 914千円

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費)

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業等について、事業者において適切な環境配慮が行われるよう、環境影響評価の取組を促進するほか、風力発電所に係る「三重県環境影響評価条例施行規則」の見直しを行います。また、公害事前審査や公害紛争処理に係る制度を適切に運用します。

- 3 環境行動促進事業 4, 624千円

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費)

「三重県地球温暖化防止活動推進センター」を拠点とした地球温暖化防止活動推進員による活動や、学校、企業と連携した啓発活動を通じて、家庭における温室効果ガスの排出削減に取り組みます。

〈生活環境の保全〉

- 1 大気テレメータ維持管理事業 152, 511千円

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)

大気環境測定局の自動測定機器等の保守および更新を行い、大気汚染の状況をモニタリングするほか、排出ガス量が多い工場の常時監視をします。また、濃度上昇の際は予報等の発令を行い、大気環境の保全を図ります。令和4年度には、大気汚染の状況をモニタリングしている三重県環境総合監視システムの更新を行います。

- 2 自動車NOx等対策推進事業 5, 968千円

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)

NOx・PM法対策地域内において、自動車から排出される二酸化窒素および浮遊粒子状物質の排出量調査ならびに沿道のNOx調査を実施し、総量削減計画の進行管理等を行います。

事業の内容

- 3 騒音、振動、悪臭等対策事業 3,508千円
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)
「三重県生活環境の保全に関する条例」(騒音・振動)に基づき、工場・事業場に遵守指導を行います。また、「悪臭防止法」に基づき、町の区域において規制地域の指定および規制基準の検討を行います。令和4年度は、老朽化した低周波騒音計の更新を行います。
- 4 土砂条例監視・指導事業 5,600千円
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)
県内において、土砂等の埋立て等が適正に行われるよう、「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」に基づき厳正に審査するとともに、土砂等の埋立て等を行う者などへの監視・指導活動を実施します。
- 5 浄化槽設置促進事業 116,123千円
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)
下水道と同等の処理能力を有する浄化槽や高度処理型浄化槽について、設置者に補助を行う市町および公営事業として高度処理浄化槽を設置し、維持管理を行う市町に対し助成し生活排水処理施設の整備率向上を図ります。

〈人権が尊重される社会づくり〉

- 1 人権施策総合推進事業 1,975千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)
人権が尊重される社会を実現していくため、「第四次人権が尊重される三重をつくる行動プラン」に基づき、人権施策の進捗管理を行い、人権尊重の視点に立った行政を推進します。
- 2 人権文化のまちづくり創造事業 787千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)
人権が尊重されるまちづくりの取組が県内全域において展開されるよう、地域の団体等が主体的に開催する研修会等への講師派遣による支援を行います。
- 3 隣保館運営費等補助金 249,438千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)
市町が設置する隣保館において、相談事業、啓発および広報活動、地域交流などの隣保事業が推進されるよう支援します。
- 4 人権相談、調査・研究事業 8,070千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費)
人権相談窓口において相談対応を行うとともに、関係相談機関とのネットワークを活用した連携対応を行います。また、新型コロナウイルス感染症に関連する重大な人権侵害について、的確に対応していく相談者に寄り添った支援を行います。

事業の内容

〈ダイバーシティと女性活躍の推進〉

- 1 男女共同参画連絡調整事業 4, 132千円

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)

男女共同参画社会の実現に向けて、県男女共同参画審議会による外部評価を実施し、施策の総合的な推進につなげます。また、市町に対しては、女性活躍推進法に基づく推進計画の策定等の取組が進むよう、働きかけや支援を行います。

- 2 広げようダイバーシティみえ推進事業 2, 957千円

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)

誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向け、「ダイバーシティみえ推進方針」に基づき、県民の皆さんのダイバーシティに係る理解や行動が広がるよう講座等を実施します。

〈文化と生涯学習の振興〉

- 1 図書館管理運営事業 213, 134千円

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 8 総合文化センター費)

図書館総合情報ネットワークや図書の相互貸借に係る物流ネットワークを適切に運用して全県域へのサービスを提供するとともに、県内図書館職員を対象とした研修会の開催等により職員の資質向上を図り、県民サービスの向上につなげます。

〈教育環境の整備〉

- 1 私立高等学校等振興補助金 5, 055, 312千円

(第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費)

公教育の一翼を担う私立学校（小学校・中学校・中等教育学校・高等学校）において、建学の精神に基づく個性豊かで多様な教育が推進されるよう経常的経費への支援を行います。

〈子どもが豊かに育つ環境づくり〉

- 1 私立高等学校等就学支援金交付事業 2, 769, 106千円

(第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費)

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、就学支援金等の支給を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

- 2 私立高等学校等教育費負担軽減事業 184, 623千円

(第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費)

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、奨学給付金の支給や授業料減免を行った学校法人に対する助成等を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

事業の内容

〈水の安定供給と土地の適正な利用〉

- 1 水道事業等指導事業 6, 802千円
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)
県民に対し安心して飲める水が安定的に供給されるよう、水道の施設整備や事業経営および施設の維持管理についての指導監督を行います。また、県内の水道事業が将来にわたり経営環境を維持していけるよう水道基盤強化の取組を促進します。
- 2 生活基盤施設耐震化等補助 1, 234, 982千円
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)
水道事業等を行う市町等に対し国交付金を財源とした助成を行い、水道施設の耐震化や老朽化対策および水道事業の広域化の取組を支援します。
- 3 水道事業会計支出金 147, 420千円
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)
水道広域化施設等に対し、一般会計から水道事業会計に出資・補助を行い、地方公営企業の経営健全化を促進し、その経営基盤の強化を図ります。

〈総合計画の推進〉

- 1 みえ県民交流センター指定管理事業 26, 483千円
(第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費)
県民の社会参画と多様な主体の連携による地域課題の解決が進むよう、「みえ県民交流センター」を拠点とした情報発信、NPO等の基盤・機能強化に取り組みます。